

図書館ミーティング第3弾を開催しました

図書館
ミーティング
開催報告

マジミエ図書館Z第3弾！

「理想をカタチにしてみよう①」

10月16日（土） 午後1時～3時

図書館3階自習室 参加者19名



アドバイザーの岡本真氏

「慌てない」「急がない」。市民を交えて良いディスカッションをするためにも、「じっくりと」の姿勢が肝要。行政はいざ動き出すと“速い”もの。動き出しからではスピードが一時すぎて、きちんとしたリサーチや議論は間に合わなくなる。そのために準備にきちんと時間をかけましょう。

突然の“その日”に備えましょう。

自由意見方式で今回も、
いろいろ意見がでました！



・図書館は誰でも安心して訪れることができる場所。そのハードが整備されていないのは問題であり、自分に何ができるか考えている。ハードの問題は人の印象に大きく影響し、まちそのものの印象につながる。

・図書館の“無償で誰もが利用できる”理念は、表面化しにくい深刻な貧困問題にも役立つものである。

・教育においては今、IQ（学力）が高いことよりも、EQ（喜怒哀楽、感動する心）が高いことが大事。感動する力を伸ばし育てるようなプログラム（仕組み）が図書館で提供できないか。

・家族で訪れられる、使い方がわかる、様々な使い方が出来る、場であれば。これまで利用していない者は、“使い方”がわからなかったりするもの。飲み物は持参してよいのか？どれくらい声が出せるもの？使わなければわからない。周知と共に、排除されやすい障がい者や外国籍の方などにも優しい運用を。

・学生がディスカッションしながらグループ学習できる“自習室”といった、アウトプットできる場も欲しい。

・これまでの図書館は個人がインプットするところであったが、これからはアウトプットするところへの転換も必要では。



岡本さんからのアドバイス

・ 静かな昔ながらの図書館”のみを指向すると、こぼれ落ちる人、そのことで追い詰められてしまう人、が発生してきてしまう。”多様性を認める”ダイバーシティ”内包する・包み込む”インクルージョン、これらが合わさった「D&I」が提唱され、世の中のキーワードとなってきている。

・ 大阪はリニューアル含め、新図書館オープンのラッシュ。地域活性化、フランド力・魅力アップが図れるもの。明石市の成功は、新しく生まれる明石市民を増やしていることにあり、そのための施策が打たれている。



「目指す図書館像」を「脱・図書館像」と聞き違いをしたが、結果として、その発想がいいのでは？

・ 目指す図書館像⑥「オープンで誠実に、市民と一緒に作る図書館」は非常に大事であり、すべての人に情報が開示されている、オープンな状況はまさに民主主義そのもの。”一緒にやるベース”、みんなで一緒に頑張ると、簡単に否定されないものになる。そうしたことから、⑥は”双方向”という指向に修正してもよいかも。

・ 多様性、様々な人たちの交差点となる図書館は、異業種（多業種）交流の場ともなるはず。今はソロワークの場となっているが、多様な交流する仕組みづくりによって、目指す図書館像③を「ネットワークを支えるハブ図書館」を拡大させた”産官学民（金）連携”、螺旋的な関係性をもって進んでいく場となれる。

以上を踏まえて、館長試案（私案）「図書館基本計画策定に向けて」II を作成し、次回の図書館ミーティングで議論を深めましょう！



決定！

マジミエ図書館 Z ラボ 始動します！

図書館ミーティングでは、市民、学生、先生、事業者、行政職員など、いろいろな立場の方が参加してくださっています。

多様性があり、様々な人たちの交差点となる図書館は、異業種交流の場ともなるはず。ということで、ご参加くださった皆さんとの会話の中で、会話ができる自習室のような場を作ろう！という話になり、早速、「マジミエ図書館 Z ラボ」を開催することになりました！

参加はあくまでも一個人として、肩書きや立場など関係なくフラットに話せる場を図書館でつくっていきます。

橋本館長

